

学校は児童一人ひとりの成長を保証する場である。そのために教職員は各々創意工夫をこらし、協働のもと、積極的に学校運営に参画しなければならない。

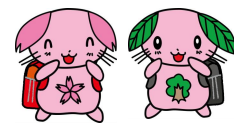
令和8年度の昭和小学校は、『生きる力』を育むことを目指し、生涯学習の基盤づくりとして「確かな学力」、「豊かな心」、「たくましい体」の調和のとれた児童の育成に向けて全力を尽くす。

学校の主役は子どもたちである。その子どもたちの「自ら学び 豊かな心で たくましく生きる子どもの育成」が本校のめざす学校である。そのために、子どもたち一人ひとりに、①やる気(感動) ②元気(感謝) ③根気(達成感)を培うことの3点を重視する。

また、学校の主役は子どもたちに他ならないが、子どもたちを主役にするのは教師一人一人である。

教師が「夢」や「目標」、「使命」と「誇り」を持ち新しいことに挑戦することはもちろん、「健康」で「一人一人の個性を大切に」することを基本理念とする。

令和8年度は、「笑顔いっぱい 昭和小！」をキャッチフレーズに、笑顔のあふれる学校をめざす。



学校教育目標

**「自ら学び 豊かな心で
たくましく生きる」子どもの育成**
～ 笑顔いっぱい 昭和小！ ～

○教育基本法

- ・伝統と文化を尊重する
- ・我が国と郷土を愛する

○学習指導要領

○千葉県学校教育指導指針

「生きる力」の育成

- ・人生を拓く「確かな学力」
- ・思いやりのある「豊かな心」
- ・活力あふれる「健やかな体」
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・発達の段階に応じたキャリア教育
- ・地域とともに歩む学校づくり

○袖ヶ浦市教育ビジョン

「心豊かなたくましい子どもの育成」

- ・基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等の育成
- ・規範意識の醸成と豊かな情操や道徳心の育成
- ・心身の健康の保持増進と体力向上
- ・一人ひとりの自立を育む生徒指導
- ・教育相談及び不登校児等への支援
- ・能力や可能性を伸ばす特別支援教育
- ・伝統文化や郷土を学ぶ教育

目指す児童像

自ら学ぶ子

豊かな心の子

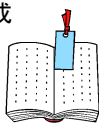
たくましい子

指導の重点

自ら学ぶ子

【確かな学力の育成】(感動)

- ①基礎・基本の確実な定着
 - ・発問・板書・ノート指導の充実
 - ・音読、視写、作文、九九の日の推進
 - ・年3回のチャレンジテストの実施
 - ・家庭学習の充実
- ②思考力・判断力・表現力の育成
 - ・問題解決的な学習過程の推進
 - ・学級活動(話し合い活動)の充実
 - ・学習発表の場づくり
 - 「感動のある体験的な学習」の実践
 - ・自分の考えをしっかりと伝える場の設定
- ③学びに向かう力の育成
 - ・ICTの積極的な活用
 - ・学校図書館の積極的な活用
 - ・総合的な学習の時間の充実
 - ・学習に対する「意欲化」を図る工夫



豊かな心の子

【豊かな心の育成】(感謝)

- ①人間関係づくりの育成
 - ・自ら進んであいさつができる子の育成
 - ・心と体が「元気」な子の育成
 - ・「感謝」の気持ちの意識化
 - ・学校生活のルールやマナーの徹底
- ②思いやりの心の育成
 - ・道徳、読書、ペア活動の実施
 - ・いじめ0への取り組み強化
 - ・命を大切にすることの育成
 - ・他学年交流及び共同学習の充実
- ③協力する心の育成
 - ・歌声指導の充実(3～6年生 音楽専科)
 - ・清掃活動(服装・時間)の徹底
 - ・自ら考えて取り組む場の設定
 - ・校外学習を通じた社会性の向上(集団行動で身につける)

たくましい子

【健康・体力・精神力の育成】(達成感)

- ①基本的生活習慣の定着
 - ・「早寝、早起き、朝ご飯、歯みがき」の推進
 - ・保健に関する指導の充実
 - ・食に関する指導の充実
 - ・児童が自らの健康安全について考える場の設定
- ②正課時体育の充実
 - ・一人一人の実態把握と個に応じた指導
 - ・ドリル走やラダーを取り入れた敏捷性を高める指導
 - ・タブレットの活用
 - ・「達成感」が得られるように、発達段階に応じた課題の設定
- ③日常的な体力づくりの奨励
 - ・外遊びの奨励(業間休みは全校外遊び)
 - ・正課時体育における運動量の確保
 - ・「運動」することの習慣化



日々の指導を通し、保護者、地域から信頼される学校をつくる

経営の重点

安全・安心な学校

【児童の安全確保に努め、隅々まで心のいき届いた環境づくり】

- ①徹底した安全点検と日常的な安全確保
 - ・複数の目による定期的な安全点検と迅速な修繕
 - ・安全管理に重点を置いた安全対策(校外学習下見・予備実験の実施等)(熱中症やケガの予防等)
- ②災害から身を守る環境の整備
 - ・危機管理マニュアルの随時見直し
 - ・臨機応変に対応可能な、日常的な実践的・実効性のある避難訓練の実施(年10回)
- ③登下校の安全確保
 - ・保護者や地域との連携
 - ・保護者による送迎車への対応
- ④いじめを絶対に許さない風土づくり
 - ・さくらっ子集会(いじめ0集会)の実施
 - ・規律ある中に温かさを感じる学級づくり(道徳科の充実、教育相談週の実施 等)

高め合う教師集団

【指導の充実・改善に丸となって取り組む職員体制づくり】

- ①きめ細かな指導のための職員体制づくり
 - ・効率的な組織づくり(校務分掌、各種委員会)
 - ・企画委員会(学年主任会)や学年研修の充実
 - ・生徒指導体制、特別支援教育の体制の充実
- ②日々の授業改善と校内研修の充実
 - ・チームで指導(交換授業と専科の導入)
 - ・算数科を主とした授業改善の推進
 - ・経験層別研修(若年層、ミドルリーダーク教員)の充実
- ③カリキュラムマネジメントによる教育活動の改善
 - ・PDCAサイクルによる、より良い教育活動の創造
 - ・学校評価の活用
 - ・目標申告、職務能力開発シートを活用した人材育成
- ④モラルアップと業務改善への取り組み
 - ・モラルアップ委員会の定期的な開催
 - ・総務主任設置による学級担任の負担軽減
 - ・放課後の事務処理時間の確保

地域や関係機関と歩む学校

【地域に開かれ、家庭・地域と共に児童を育む学校体制づくり】

- ①授業、行事等の公開と迅速な連絡
 - ・積極的な授業や行事の公開
 - ・学校連絡メールの活用推進
 - ・ホームページ、学校だよりの充実
- ②地区住民会議、地域施設、地域人材等の積極的な活用
 - ・坂戸の森みどりの会との連携・愛のパトロールの実施
 - ・市民会館、博物館、図書館、地域人材や団体との連携と活用
 - ・学校支援ボランティア活動の充実
- ③各種教育機関、学童、福祉機関との連携
 - ・昭和3校の相互授業参観、情報交換会の実施
 - ・市子育て担当課、放課後等デイサービスとの情報交換
- ④家庭教育力の向上
 - ・家庭学習の充実
 - ・「学校から発信する家庭教育プログラム」の活用

